

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>忙しい時間帯にもかかわらずご出席いただきありがとうございます。先日、千種高校からの依頼で高校生に漬物の漬け方を教える機会がありました。前回の委員会で、子どもとのふれ合いが少ないという意見がありましたが、老人会でも12月には小・中学生を対象にしめ縄づくりを教えており、いろいろな形でふれ合う機会があることを知っていただければと思います。</p> <p>また、本日の委員会より、磯崎さんと奥田さんに新たに委員に加わっていただくことになっておりますので、よろしくお祈いします。</p> <p>3 委嘱状交付</p> <p>➤ 清水副局長より新委員の磯崎氏と奥田氏に委嘱状を交付</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 前回協議の確認について</p> <p>➤ 事務局より第2回会議録の説明</p>
委員長	<p>事務局より説明がありました前回の協議内容について質問や意見などはありませんか。</p> <p>— 意見なし —</p>
事務局	<p>(2) これまでの議論と意見の体系</p> <p>これまでの委員会での意見を一覧表にまとめ、類似の意見を整理しております。意見を整理すると議論の流れがわかりやすくなると思います。これがそのまま計画書になるわけではありませんが、来年6月までに委員会として方向性を打ち出していくために、この意見の体系に沿って議論を進めていってはどうかと考えています。</p>
委員長	<p>前回までの委員会で約70項目の意見がでており、事務局に一覧表にして項目ごとにまとめていただいております。このことについて、幅広く意見をいただければと思いますのでよろしくお祈いします。</p>

委員	<p>生活圏の拠点におけるエーガイヤの役割・機能について、委員会での発言を振り返ると表現がおかしいと思います。新たな拠点ができる中で、老朽化していくエーガイヤについて、拠点をどう保っていくかという意見だったかと思います。現在、エーガイヤには千種保健福祉課もありますが、社会福祉協議会がどのように利用するかという表現になっております。確認をお願いします。</p>
事務局	<p>会議録を整理する中で、表現が趣旨と異なっていたのかと思います。訂正いたします。その他にもそういった点がありましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>これまでの意見では、どのように地域を変えていくかという話が主体だと思えますが、変えなくていいことがあってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>例えば市民局の建物の一部や外観を残して建替えができないのかと思います。市民局は千種町のシンボルだと思いますし、何か残せるものがないのかなと思います。</p> <p>それと、建物を建てて維持していく上で、将来的な維持費を賄えないものかと思えます。例えば、エーガイヤには居住機能があるということですので、平時は宿泊施設として使用し、災害など緊急時には地域の方に使用していただくなどしてはどうでしょうか。少し大きな話かもしれませんが、地域から若い人がいなくなっていますので、マンションのような形で使用し、維持費を賄っていくことなども考えてはどうでしょうか。</p> <p>大きな建物を建てて、将来の世代に負担を残し、無駄なものを建てたと言われないうちにも、維持費を賄いながらできることを組み込んでいければよいと思います。</p> <p>また、地域の将来を考え、若者からも意見をもらうために、この委員会があると思いますが、委員会とは別に予算や施設規模について議論が進んでおり、職員を減らしても入る規模でいいのではないかという議論があるのであれば、それに対して、これだけのスペースが必要だということや、若者が施設でこんな活動をするので、このスペースを残しておかないといけないなど、10年先にどんなことができるかわからないのですが、そのための理由付けを考えてはどうかと思います。</p>
委員長	<p>実際に建物を建てることになれば借金をすることになると思えますので、様々な意見を反映できる建物にしていくことが大事だと思います。その中で無駄なものはつくり、今あるものは有効に使えばということかと思えますが、そのとおりだと思います。</p>

委員	<p>この委員会は、千種町の拠点をつくっていかうという委員会ですが、若者世代は、建物の話だけが先に進んで、人口が減ってしまっているという状況にならないようにしたいと思っています。</p> <p>現在、商工会は市内に 4 ヶ所にありますが、本所の山崎と北部支所にまともろうとしており、職員が減っています。市民局もそうになってしまうのではないかと心配しています。建物先行の議論にならず、また建物も大きなものは必要ないかと思います。一宮市民局ではその辺はどうでしたか。</p>
企画総務部次長	<p>一宮では、国土交通省の面積基準を採用して現状の職員数で執務室の面積を算出しています。同時に市役所内で意見を聞いているところで、相談室が不足するなどの意見も出ており、現在の計画より少し広くなると思います。</p>
副委員長	<p>建物を建替えるまでの期限がありますが、市では建設場所や規模をどのように考えておられるのでしょうか。今は、意見を言うだけになっていますが、実際にはどうなのか具体的に教えていただいで進めていってほしいです。</p>
企画総務部次長	<p>この委員会では、来年 6 月を目途に拠点づくりの計画書を作っていくことを想定しています。もし建物を建てるのであれば有利な財源である合併特例債を活用したいと考えておりますが、活用できるのは平成 32 年度までになります。他の財源としては過疎債があり、こちらも平成 32 年度までとなっています。過疎債は活用できる期間が延長される可能性もありますが、これらの財源がなければ、市の負担が大きくなりますので、財源のことだけで言えば平成 32 年度というのがひとつの期限となります。ただ、いろいろな方法がありますので、ご意見いただければと思います。</p>
事務局	<p>財源については、期限を決める必要がありますが、委員会の目的地が決まっているというわけではありません。最終的には市が決定することになりますが、いろいろな意見をいただく中で決めていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>簡単に決められる話ではありませんが、すでに 70 項目の意見を出していただいでおり、これから意見を絞っていく中で、市が決定していくこととなります。</p>
事務局	<p>整理した意見を基に来年 6 月までに施設の位置や規模も決めていけないかと考えています。千種町の良いところや強みを活かし、弱みや課題をカバーしていきたいと考えています。どのような強みが活かせるのか取組を掘り下げていく必要があると思いますし、次の取組みにつながるアイデアがでてく</p>

委員長	<p>るのではないかと思います。それらを踏まえた上で、どのような施設にするのか、場所のことやその施設でどのような活動をするのか。また、エーガイヤをどうするかなど、ワークショップ形式で取組を掘り下げていただき、計画書の作成に向けた工程表をつくっていくアイデアを出していただきたいと思います。</p> <p>(3) 【勉強会】千種まちづくり推進委員会の取組</p> <p>続いて、千種まちづくり推進委員会でどのようなまちづくりにするのか、議論してきたことを話していただくこととしています。委員会を進めていく上で参考にさせていただければと思います。</p>
講師	<p>講師：栄栗市地区コミュニティ支援員 田住 学 氏</p> <p>【千種まちづくり推進委員会の取組概要】</p> <p>◆ まちづくりの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方はそれぞれに特色があり、どこも少子高齢化に悩んでいる。そこには人が住んでおり、住んでいる以上は“くらしがい”や“生きがい”がなければ、そこは人が住むところではなくなる。 ・合併前の千種町は“たたら”の聖地。“たたら”を核とする「たたら」の里づくり構想」を立て、地域の誇りを大事にし、郷土愛を育てることで、そこに住む人のくらしがいや生きがいに繋げていく。 ・千種に住んでくれる人を大事にするのが一番大事ではないか。それが、まちづくりの原動力にも繋がる。 ・構想に掲げる「たたらまつり」は、一過性のものではなく、教育や観光、文化に派生し、いろいろな意味で地域に関わりというものが生まれてくる。そうして自治会組織が根付く中で、生業である農林商工に繋げていく。 ・地域づくりを進めるには、人や財源のほか、観光・文化・交通・生活サービス拠点などいろいろな態勢が必要となる。千種まちづくり推進委員会の取組を進めていくにあたり、千種生活圏の拠点づくりはまちづくりの目標や拠り所となる。 <p>◆ 千種生活圏の拠点づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を再確認していくことが、地域づくりには大事。話し合いを進めていく上で、この地域にあったものに活かされていく。 ・千種生活圏の拠点づくり検討委員会で議論していること、それ自体がまちづくり。10年20年先に何が必要なのか、夢を語り、こんな町がいいなど考える場になればよい。 ・拠点にはどのような機能が必要か。集約した方がよい機能、地域内で連携させる方がよい機能、集約することによって周辺への影響はどうかを

	<p>考えていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと意見が出てくる中で、予算との折り合いをつけることも大事。 <p>◆ 拠点づくりの方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来を見据えることは大事だが、中身が機能しないと拠点にはならない。住民が何をするか、何ができるか、何をしなければならないかという意識まで醸成する必要がある。 ・千種まちづくり推進委員会はボランティアで活動されている。そのくらいのエネルギーがないと活動が進まない。行政でイニシアティブをとるべきこともあるが、いつまでも頼っているは拠り所にはならない。
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。千種まちづくり推進委員会の取組やその他のことでも、意見や質問などがあればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>市民局を建てる予算はどの程度あるのでしょうか。建物の規模が分からないので、必要な機能を考えることが難しい。方向性やタイミングを間違えると将来に負担を残していくことになります。</p> <p>エーガイヤにスペースがあるのであれば、そこに市民局が入り、その他に市民がコミュニケーションする場所やセンターちくさ、防災・避難所になる建物がまとまれば、コストが小さくなるのではないのでしょうか。</p> <p>予算の使い方に関して、地域の人暮らしをよくしたいのか、それとも外から移住者や観光客を呼びたいのか、どの事業がどのペースで進んでいるのかわかりません。建物を建てても人口が減っていれば意味がないので、予算配分の仕方を明確にさせていただけると助かります。</p> <p>若い女性が移住してくれればという意見もありましたが、現状では結婚でしか移住はないと思います。少子化対策を進めておられますが、保育料を無償にしている自治体もあります。宋栗市でも幼児教育が無償になるという話がありますが、不妊治療などは大きな治療しか助成対象になっておらず、子どもが欲しいという方々に予算を使う方がよいのではないのでしょうか。</p> <p>先日、災害時に備えているかのチェックシートを記入することがあり、防災のことをあまり考えていない方が多いということが分かりました。千種町全体での防災訓練などされていないので、年数回でも全員で防災訓練を実施するために予算を使うなど考えてほしい。</p> <p>防災物資も、どういう物資が準備してあるか知らないのが不安があります。子どもだとオムツやミルクも必要になります。いろんな不安要素がありますので、防災の施設を日頃から公開するなど、情報提供いただけるとありがたいです。</p>

委員長	<p>防災の件について事務局から説明をお願いします。</p>
副局長	<p>宍粟市の地域防災計画により、避難所の数や備蓄品は地域ごとに準備しておくことになっています。詳しい資料が手元にありませんが、物資には食料品と紙オムツもあったと思います。千種町では市民局と千種高校にある防災倉庫に物資が備蓄してあります。</p> <p>また、各種団体との協定により、災害時には必要な物資を届けていただけることになっています。</p>
委員長	<p>千種町では、各自治会で防災訓練を実施しており、隣保で避難する場所が決まっています。千種町全域でも防災訓練を実施しています。</p> <p>建物を建てるかどうかや、予算がどの程度になるかは委員会での意見をもって話していくことになると思います。また、庁舎をエーガイヤにするのもひとつの意見だと思います。</p>
委員	<p>財源があるから今建てるということでしょうか。</p>
企画総務部次長	<p>もし、今建てるのであれば、市の負担を少なくするため有利な財源を使いたいと考えています。建物が必要ないのであれば、市も建物を建てようとするものではありません。</p> <p>一宮では、すでに設計など進めておりますが、ホールや図書館などが古いまま、新たな施設の中にその機能を入れることを考えています。千種町ではエーガイヤが比較的新しく、波賀町は市民局が新しい建物です。それぞれ状況が違う中で、千種町ではこんなことをしてほしいという意見をいただいている段階です。</p>
委員長	<p>千種市民局が築 50 年経過し、老朽化が進んでいるため建物を建てるかどうかという議論になっています。どうしても建替えないといけないという話ではありません。合併特例債の期間は平成 32 年度までになっていますので、このタイミングを逃すと市は建てるのが難しくなります。建てるのであれば必要なものを建てようということで、市民の意見を聞くという委員会です。こんな機能があればという意見をまとめてもらえればよいと思います。</p>
委員	<p>拠点というのは家と同じだと思います。身の丈にあったものをつくります。観光に必要ななら案内しやすい場所になりますし、“たたら”を推進するなら“たたら”を案内するようなものが必要です。すべての機能ということではありませんが、防災や医療に関しては 24 時間対応するなど必要ではないかと思</p>

	<p>います。今日は、センターちくさで4つ行事が入っているようですが、毎日4つの行事があるなら4つの防音した部屋が必要になります。</p> <p>必要に応じて規模が決まってくるので、毎日使うことを想定して必要な規模を考えればよいと思います。規模はこれから考えていくことで、必要に応じて予算化して建てる必要があります。</p> <p>私の家は人がいなくなって使わなくなっている部屋があります。無駄な機能は必要ないですし、毎日使うことを前提にしていけば施設規模はコンパクトになると思います。年1回しか使わないような機能は無駄になりますが、それを365日使うようにすれば無駄ではなくなります。必要な行事とか無駄のないようにするのなら、いくら大きくなって構わないと思います。</p>
委員長	<p>身の丈にあったというのはそのとおりだと思います。市民局をどうしたらよいか。古くなった建物を建替えるならどのようなものにすればよいかということです。</p>
委員	<p>必要な機能には商売も入るのでしょうか。</p>
委員長	<p>いろんなことを発想していただいて、それを設計に反映してもらうのが我々の役割になります。</p>
企画総務部次長	<p>商売ということではいいかと、例えば拠点の中に塾のような機能を持たせることも考えられます。いろんなことを柔軟に考えていただければと思います。</p>
事務局	<p>(4)【ワークショップ】検討委員会の工程表・地図づくり</p> <p>この後、ワークショップを予定していましたが、時間の関係で考え方の説明のみさせていただきます。後日、意見を記入いただくワークシートを郵送しますので、次回の委員会までに意見を記入いただき、提出いただくようお願いいたします。</p> <p>▶ 事務局よりワークショップの考え方を説明</p>
委員長	<p>この件について何か意見がありますか。</p>
委員	<p>こういった場では緊張して意見が言いにくいこともありますので、一度持ち帰って考えたいと思います。</p>
委員	<p>今回は持って帰り、次回の委員会で意見を読みながら出すということにし</p>

<p>委員長</p>	<p>てはどうでしょうか。先ほど商売の話がありましたが、商売にもいろいろとあります。例えば、これから高齢者が増えるので野菜の販売をして雇用を作っているとか、山崎高校で取り組んでいるレストラン「青い家」のコミュニティハウスでは、貸し館事業もされています。意見が横に広がるような、意見を出し合う機会を設けてはどうでしょうか。</p> <p>近所の人や知り合いにも意見を聞いてワークシートを記入いただいていると思います。</p> <p>5 その他</p> <p>➤ 次回開催予定 11月7日(火) 午後6時から</p> <p>6 閉会</p>
<p>副委員長</p>	<p>新しい委員が加わり、いろいろと意見をだしていただきました。次回の委員会に向けて意見を書いていただき、さらに委員会での議論が進むようお願いいたします。本日はお疲れ様でした。</p>